



ほけんだより



令和5年3月1日あいあい浜寺中央こども園

少しずつ日が長くなり、春の訪れが待ち遠しく感じます。たくさんの思い出でいっぱいになった1年も締めくくりの時期となりました。子どもたちは心も体も大きくなり、1年間の成長ぶりに驚いています。残り少ない日々を、病気やケガに気をつけて新年度を迎えましょう。



「3」は耳の形に似ていることから3月3日は耳の日と言われています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さんの様子をよく観察しましょう。

音を聞く

大人が話す言葉を聞いて、言葉をまねして覚えていきます。「聞く」と言葉の発達は関係があります。

からだのバランスを保つ

耳の中の「三半規管」がバランスをとって歩いたり走ったりしています。

こんな症状はありませんか？

- よく耳を触っている。
 - テレビの音を大きくする。
 - 呼びかけても返事をしない、反応がにぶい
 - 何度も聞き返す
 - やたらと大きな声で話す。
- ※こんな様子が続くときは、耳鼻咽喉科を受診しましょう。

風邪からくる急性中耳炎に注意

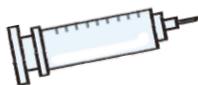
風邪をひいた時、気を付けたいのが【急性虫耳炎】です。鼻水が耳管（耳と鼻をつなぐ管）を通して耳に流れ込み炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいです。

中耳炎は何度も繰り返したり、放っておくと滲出性中耳炎に移行することもあるためきちんと治療しましょう。

土踏まずの形成…生まれたばかりの赤ちゃんは扁平です。直立二足歩行を行うことで次第に土踏まずが形成されてきます。しっかり直立しているためには、足の親指・小指・かかとの3カ所で体重をきちんと支える事が必要で、そのために発達してきたのが土踏まずというくぼみです。らいおん組（5歳）のお友だちは、土踏まずの形成に良い鼻緒の草履を、6月より導入しました。履きだした当初は、土踏まずが形成されている児は32人中11名でした。しかし卒園前には31人中16名が形成、11名がほぼ土踏まずが形成されて大きく変化がみられています。



予防接種…感染症から子どもを守るために有効な手段は予防接種をすることです。予防接種の効果をよく理解し、4月からの入園・進級に備えて受け忘れていたものは済ませておきましょう。



花粉症を発症する子どもが増えています。目が痒い、水のような鼻水が出る。くしゃみが止まらないなどの症状はありませんか？戸外から帰ってきたら服に付いた花粉をはらい落として手洗い、うがいをするなど、花粉が体内に入るのを防ぎましょう。



2月感染症発生状況

*インフルエンザ2名 *胃腸炎2名

今年度も最後の月になりました。

1年を振り返ると、大きく成長を感じます。

3月の身長と体重を、今年度当初と、

一度比較してみてください。



3月の保健行事

身体測定

(乳児) 3月9日(木)

(幼児) 3月10日(金)

